

子ども医療費助成制度の推移と患者の受診動向の分析

2017 年 12 月 6 日

保団連情報通信部長 本田孝也

日本経済新聞は 8 月 1 日、子ども医療費助成制度の拡大に対して「安易な受診を増やし医療費膨張につながる副作用は深刻だ」と報じた。報道の信憑性を検証するために、医療費の動向（メディアス）と社会医療診療行為別調査（e-Stat）のデータから子ども医療費助成制度の推移と患者の受診動向の分析を行った。

図 1、表 1 に 2002 年から 2016 年までの子ども医療費助成制度の対象年齢（通院）の推移を示す。2002 年には助成対象年齢のほとんどが就学前であり、中学生まで助成していたのは 3,241 自治体のうち、僅か 33 自治体（1%）に過ぎなかった。それが 2016 年には 1,741 自治体のうち、助成対象年齢が中学生以上の自治体が 1,387 自治体（80%）と、助成対象年齢の引き上げは年々着実に進行している。

日本の子どもの人口（0～14 歳）は、2002 年は 1,810 万人だったのが、2015 年には 1,589 万まで減少している。一方で、助成対象年齢の引き上げに伴い、助成の対象となる人口は 2002 年の 651 万人から 2015 年には 1,425 万人と倍増した（表 2）。

図 2 の棒グラフは 2002 年度から 2016 年度までの外来レセプト件数の年齢階級別推移を示している。0～4 歳、5～9 歳、10～14 歳のいずれの年齢階級でも外来レセプト件数はほとんど変化していない。ただ、受診率（人口 1,000 人当たりのレセプト件数）でみると 2002 年度の 7,000 件から 2015 年度には 8,400 件と微増（1.2 倍）しており（表 3）、これは、医療費助成制度拡大の影響と考えられる。

図 2 の折れ線グラフは 0～14 歳の医療費（入院＋入院外）の推移を示している。概算医療費（全年齢の総医療費）は 2002 年度から 2015 年度までの 14 年間で 11.3 兆円も増加している（表 4）。これに対して 0～14 歳の医療費の増加は 0.44 兆円（4,400 億円）に過ぎない。増加した 4,400 億円の内訳は、病院、診療所が 1,700 億円、歯科が 300 億円、調剤薬局が 2,400 億円である。

医療費助成制度を拡大するとコンビニ受診が増えるのではないか、という懸念の声がある。

図 3 は 2006 年から 2016 年までの各年の 6 月の年齢階級別、時間外受診件数の集計結果である（表 5）。時間外・夜間・深夜の加算件数の合計から計算した（表 6）。医療費助成制度は拡大し、助成対象人口は増加しているにも関わらず、いずれの年齢階級でも時間外受診件数はむしろ減少傾向にある。これは、医療費助成制度の拡大によって必要な受診が確保されたために疾病の重症化が防止され、時間外受診が減少した結果であると考えられる。

医療費助成制度を拡大しても、安易な受診や医療費膨張にはつながらないことが、医療費の動向（メディアス）と社会医療診療行為別調査（e-Stat）のデータから統計的に証明された。このような偏見や憶測にもとづく心無い報道が繰り返される現状のほうが、よほど深刻である。

以上

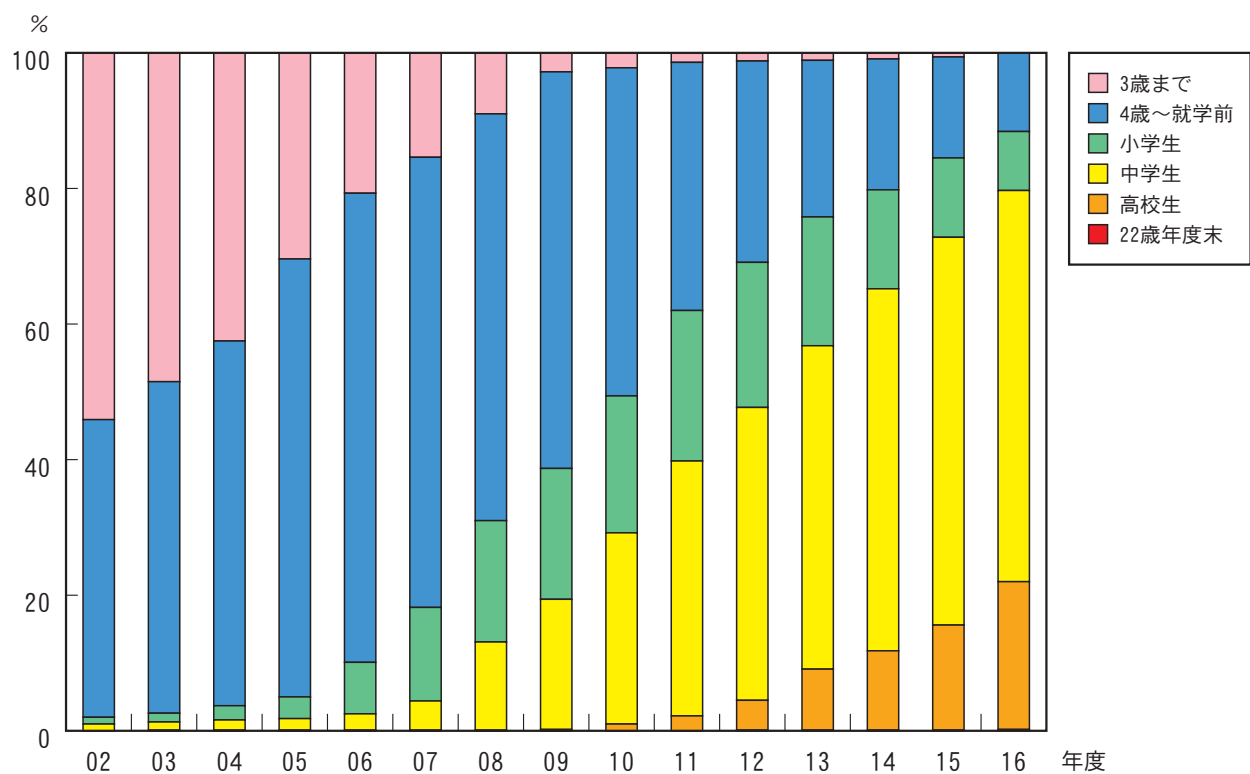


図1 子ども医療費助成（通院）対象年齢の自治体比率

単位：自治体数

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
3歳まで	1,755	1,556	1,327	734	383	282	164	50
4歳～就学前	1,421	1,571	1,682	1,564	1,277	1,216	1,090	1,054
小学生	31	41	66	78	141	253	324	348
中学生	33	39	46	40	45	79	235	346
高校生	1	2	2	2	1	1	1	3
22歳年度末	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,241	3,209	3,123	2,418	1,847	1,831	1,814	1,801

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
3歳まで	39	24	21	19	15	10	0
4歳～就学前	846	639	520	402	339	260	202
小学生	354	387	372	333	254	204	152
中学生	494	657	752	831	930	996	1,005
高校生	17	40	76	156	203	270	379
22歳年度末	0	0	1	1	1	2	3
合計	1,750	1,747	1,742	1,742	1,742	1,742	1,741

表1 子ども医療費助成（通院）対象年齢の自治体数

単位：万人

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
総数	1,810	1,791	1,773	1,752	1,743	1,729	1,718	1,701
助成対象	651	669	691	729	794	865	990	1,072

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
総数	1,680	1,671	1,655	1,639	1,623	1,589	-
助成対象	1,156	1,264	1,318	1,374	1,406	1,425	-

表2 子どもの人口（0～14歳）

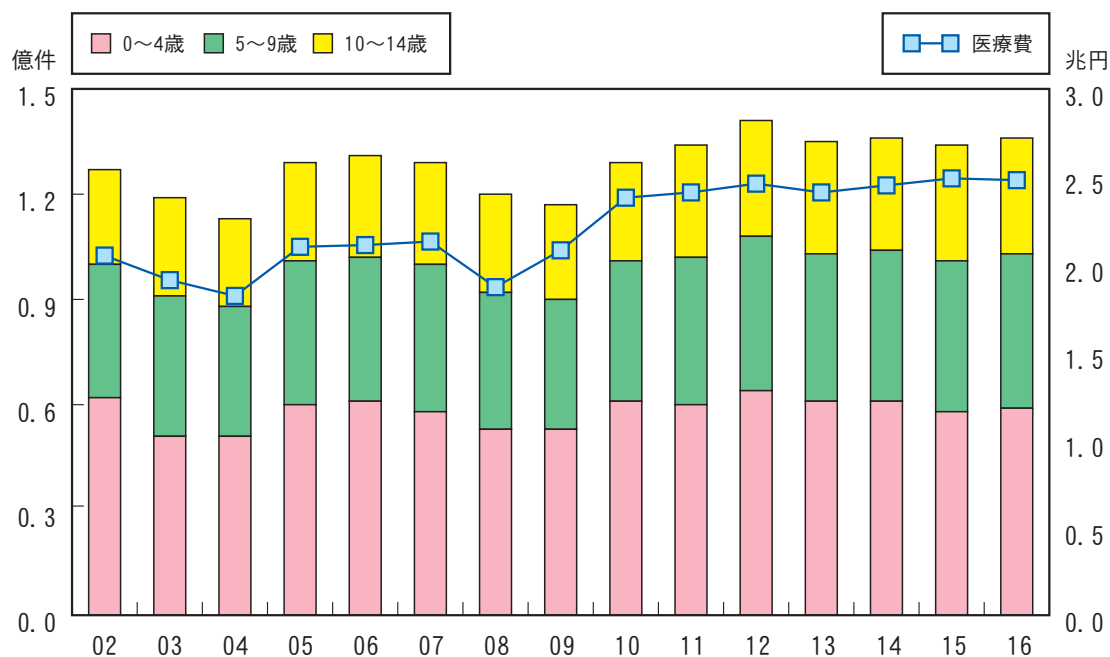


図2 子どもの外来レセプト件数と医療費（入院+入院外） 年度

外来レセプト件数単位：億件 受診率単位：件／1,000人

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
0～4歳	0.62	0.51	0.51	0.60	0.61	0.58	0.53	0.53
5～9歳	0.38	0.40	0.37	0.41	0.41	0.42	0.39	0.37
10～14歳	0.27	0.28	0.25	0.28	0.29	0.29	0.28	0.27
合計	1.27	1.19	1.14	1.29	1.31	1.28	1.20	1.18
受診率	7,020	6,640	6,410	7,340	7,520	7,410	6,990	6,910

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	差
0～4歳	0.61	0.60	0.64	0.61	0.61	0.58	0.59	-0.04
5～9歳	0.40	0.42	0.44	0.42	0.43	0.43	0.44	0.06
10～14歳	0.28	0.32	0.33	0.32	0.32	0.33	0.33	0.06
合計	1.29	1.35	1.41	1.35	1.36	1.33	1.36	0.08
受診率	7,700	8,080	8,520	8,250	8,370	8,400	-	1,380

表3 子どもの外来レセプト件数と受診率 差：2015年度と2002年度の差

単位：兆円

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
医 科	1.60	1.46	1.34	1.61	1.59	1.57	1.31	1.53
歯 科	0.20	0.18	0.17	0.19	0.19	0.19	0.18	0.17
調 剤	0.25	0.27	0.32	0.30	0.34	0.37	0.38	0.39
合計	2.05	1.91	1.82	2.10	2.11	2.13	1.87	2.08
概算医療費	30.2	30.8	31.4	32.4	32.4	33.4	34.1	35.3

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	差
医 科	1.77	1.74	1.78	1.75	1.77	1.77	1.77	0.17
歯 科	0.19	0.20	0.21	0.20	0.21	0.23	0.24	0.03
調 剤	0.42	0.47	0.47	0.46	0.47	0.49	0.47	0.24
合計	2.38	2.41	2.46	2.41	2.45	2.49	2.48	0.44
概算医療費	36.6	37.8	38.4	39.3	40.0	41.5	41.2	11.30

表4 子どもの医療費と概算医療費 差：2015年度と2002年度の差

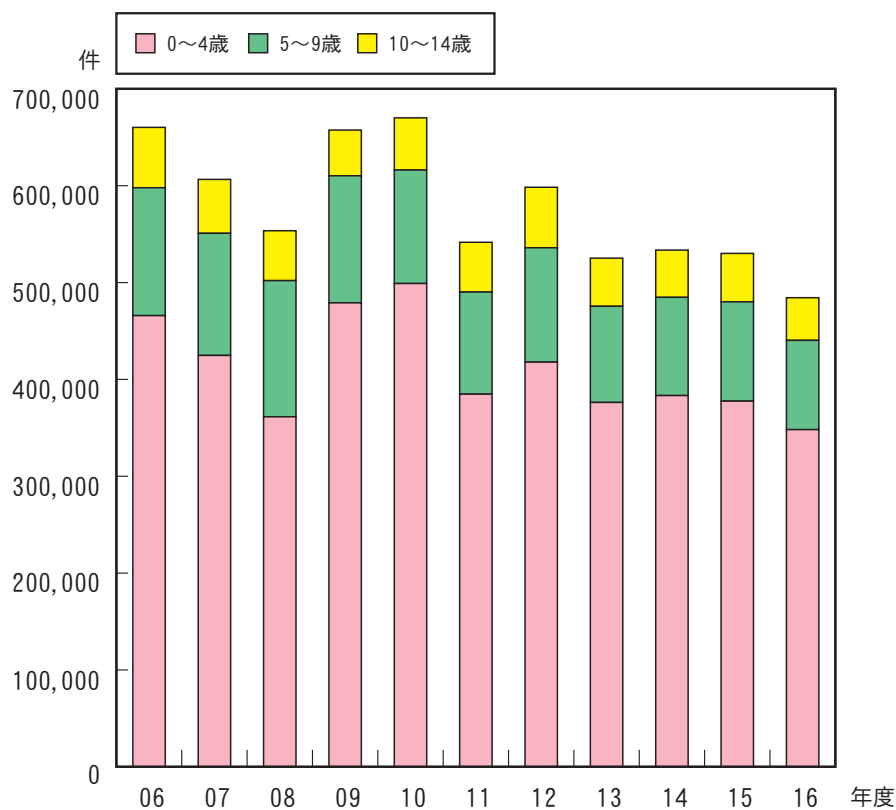


図3 子どもの時間外受診件数

単位：件

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011
0～4歳	465,890	424,764	361,387	479,052	499,014	384,790
5～9歳	132,013	126,096	140,631	131,213	117,207	105,439
10～14歳	62,331	55,674	51,494	47,192	53,852	51,374
合計	660,235	606,534	553,512	657,458	670,072	541,603

年	2012	2013	2014	2015	2016
0～4歳	417,839	376,216	383,332	377,577	348,161
5～9歳	118,116	99,291	101,379	102,541	92,152
10～14歳	62,465	49,702	48,809	49,999	44,052
合計	598,421	525,210	533,520	530,117	484,365

表5 各年6月の年齢階級別、時間外・夜間・深夜加算件数＝時間外受診件数

出典及び計算に用いた資料

図1、表1：乳幼児等医療費に対する援助の実施状況（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健調べ）。

2011年まで：保団連集計資料より作成、2012年より：長崎県保険医協会集計

表2：国立社会保障・人口問題研究所 人口統計資料集

図2、図3、表3～6：概算医療費データベース（メディアス）、制度別医療機関種類別 医療費、平成12年4月から平成20年3月まで；2005a.xls、平成20年4月から平成29年3月まで；2014a.xls

社会医療診療行為別調査（e-Stat）、医科 上巻 第1表 医科診療（総数） 件数・診療実日数・回数・点数、傷病分類、一般医療－後期医療・年齢階級、診療行為（大分類）別 件数、点数

閲覧 第3表 医科診療（入院外） 件数・診療実日数・実施件数・回数・点数、診療行為（細分類）、一般医療－後期医療・年齢階級別

歯科 第2表 歯科診療 件数・診療実日数・回数・点数、傷病分類、一般医療－後期医療・年齢階級、診療行為（大分類）別

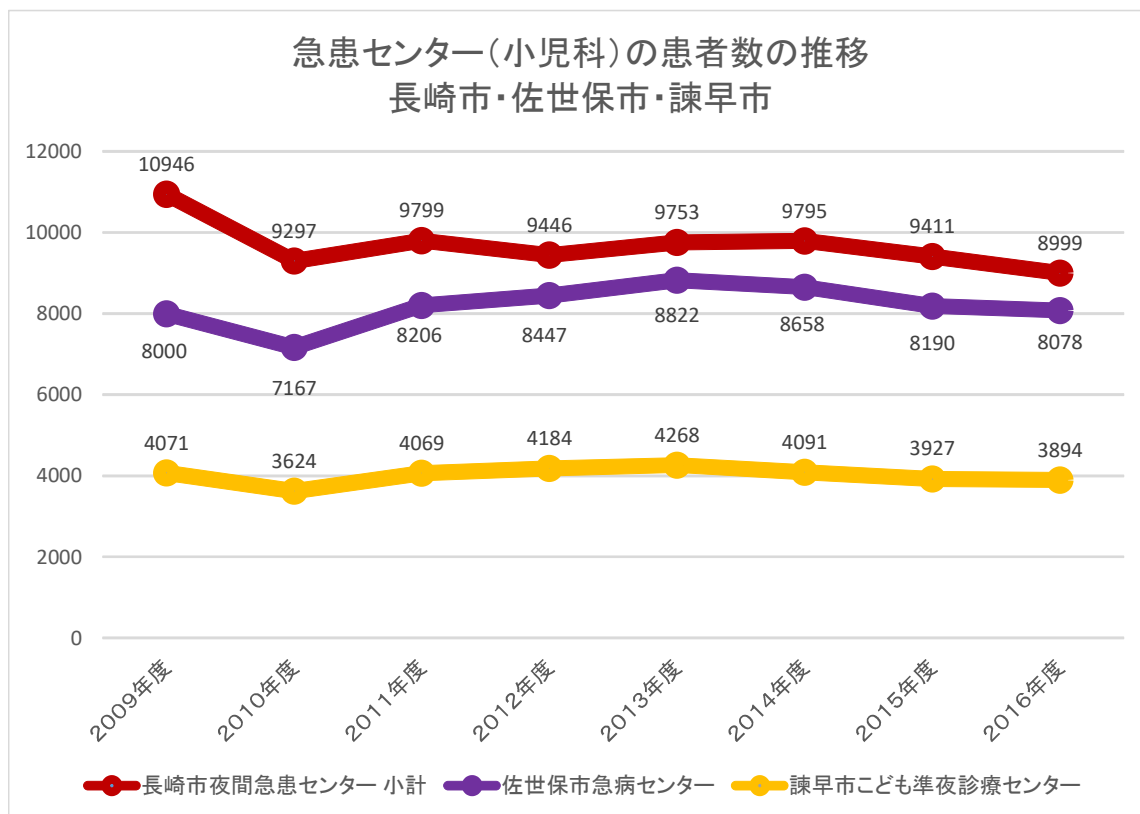
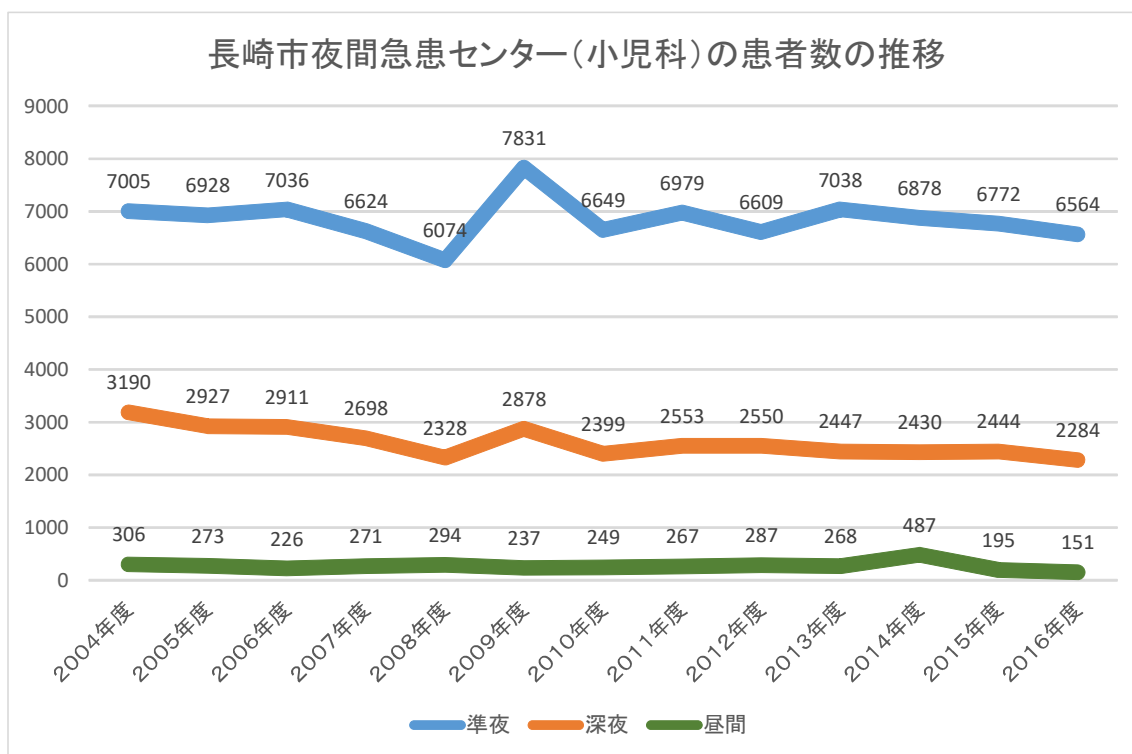
薬局調剤 第4表 件数、一般医療－後期医療・年齢階級、処方せん受付回数階級別

平成28年 社会医療診療行為別統計 平成28年6月審査分

第3表 医科診療（入院外）件数・診療実日数・実施件数・回数・点数，診療行為（細分類），年齢階級別

	00～04歳	05～09歳	10～14歳
初診料 時間外 加算	35	9,347	9,651
初診料 深夜 加算	2	7,745	6,539
初診料 時間外特例医療機関 加算	15	16,536	17,332
初診料 乳幼児時間外 加算	22,234	5,227	-
初診料 乳幼児深夜 加算	25,420	3,386	-
初診料 乳幼児時間外特例医療機関 加算	37,047	5,728	-
初診料 小児科 乳幼児夜間 加算	41,322	11,088	-
初診料 小児科 乳幼児深夜 加算	591	102	-
再診料 時間外 加算	42	5,018	3,819
再診料 深夜 加算	1	315	221
再診料 時間外特例医療機関 加算	6	627	495
再診料 乳幼児時間外 加算	15,717	3,939	-
再診料 乳幼児深夜 加算	1,003	137	-
再診料 乳幼児時間外特例医療機関 加算	1,990	376	-
再診料 小児科 乳幼児夜間 加算	40,594	11,175	-
再診料 小児科 乳幼児深夜 加算	115	12	-
外来診療料 時間外 加算	3	372	313
外来診療料 深夜 加算	3	952	735
外来診療料 時間外特例医療機関 加算	8	2,213	1,974
外来診療料 乳幼児時間外 加算	1,495	169	-
外来診療料 乳幼児深夜 加算	5,233	484	-
外来診療料 乳幼児時間外特例医療機関 加算	9,091	932	-
外来診療料 小児科 乳幼児夜間 加算	142	33	-
外来診療料 小児科 乳幼児深夜 加算	90	6	-
小児科外来診療料 初診時 乳幼児夜間 加算	42,533	-	-
小児科外来診療料 初診時 乳幼児時間外 加算	11,746	-	-
小児科外来診療料 初診時 乳幼児深夜 加算	7,592	-	-
小児科外来診療料 初診時 時間外特例医療機関 加算	11,028	-	-
小児科外来診療料 再診時 乳幼児夜間 加算	33,193	-	-
小児科外来診療料 再診時 乳幼児時間外 加算	8,168	-	-
小児科外来診療料 再診時 乳幼児深夜 加算	560	-	-
小児科外来診療料 再診時 時間外特例医療機関 加算	1,400	-	-
小児科外来診療料 外来診療料 乳幼児夜間 加算	148	-	-
小児科外来診療料 外来診療料 乳幼児時間外 加算	94	-	-
小児科外来診療料 外来診療料 乳幼児深夜 加算	333	-	-
小児科外来診療料 外来診療料 時間外特例医療機関 加算	687	-	-
地域包括診療料 再診時 時間外 加算	-	-	-
地域包括診療料 再診時 深夜 加算	-	-	-
地域包括診療料 再診時 時間外特例医療機関 加算	-	-	-
地域包括診療料 再診時 乳幼児時間外 加算	-	-	-
地域包括診療料 再診時 乳幼児深夜 加算	-	-	-
地域包括診療料 再診時 乳幼児時間外特例医療機関 加算	-	-	-
地域包括診療料 小児科外来診療料 再診時 乳幼児夜間 加算	-	-	-
地域包括診療料 小児科外来診療料 再診時 乳幼児深夜 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 再診時 時間外 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 再診時 深夜 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 再診時 乳幼児時間外 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 再診時 乳幼児深夜 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 再診時 時間外特例医療機関 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 再診時 乳幼児時間外特例医療機関 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 小児科 再診時 乳幼児夜間 加算	-	-	-
認知症地域包括診療料 小児科 再診時 乳幼児深夜 加算	-	-	-
小児かかりつけ診療料 初診時 乳幼児時間外 加算	798	9	-
小児かかりつけ診療料 初診時 乳幼児深夜 加算	6	-	-
小児かかりつけ診療料 初診時 時間外特例医療機関 加算	12	-	-
小児かかりつけ診療料 小児科 初診時 乳幼児夜間 加算	1,419	1	-
小児かかりつけ診療料 小児科 初診時 乳幼児深夜 加算	1	-	-
小児かかりつけ診療料 再診時 乳幼児時間外 加算	854	4	-
小児かかりつけ診療料 再診時 乳幼児深夜 加算	25	-	-
小児かかりつけ診療料 再診時 時間外特例医療機関 加算	56	-	-
小児かかりつけ診療料 小児科 再診時 乳幼児夜間 加算	1,796	-	-
小児かかりつけ診療料 小児科 再診時 乳幼児深夜 加算	17	-	-
小児かかりつけ診療料 外来診療料 乳幼児時間外 加算	-	-	-
小児かかりつけ診療料 外来診療料 乳幼児深夜 加算	-	-	-
小児かかりつけ診療料 外来診療料 時間外特例医療機関 加算	-	-	-
小児かかりつけ診療料 小児科外来診療料 乳幼児夜間 加算	-	-	-
小児かかりつけ診療料 小児科外来診療料 乳幼児深夜 加算	-	-	-
a 件数総数（第3表 医科総計）	80,715,527		
b 加算件数合計	324,665	85,933	41,079
c 件数比率（b/a）	0.402%	0.106%	0.051%
d 平成28年6月の件数合計（メディアスより）	86,556,879		
e 年齢階級別件数（c×d）	348,161	92,152	44,052

表6 年齢階級別時間外・夜間・深夜加算の集計、2016年（平成28年）6月審査分



長崎市：2010年～2015年は「長崎市の保健行政」より抜粋。それ以外はききとり。佐世保市・諫早市：ききとり。

参考) 2005.10～県が対象年齢拡大(就学前)
 2007.4～長崎市が現物給付
 2011.4～県が現物給付
 2016.4～長崎市が対象年齢拡大(小学校卒業)
 2016.8～佐世保市・諫早市が対象年齢拡大(中学校卒業)